

transport logistic 2025 ファイナルレポート

国際ロジスティクス・モビリティ・IT・サプライチェーンマネジメント専門見本市
2025年6月2日～5日 / メッセ・ミュンヘン

2025年6月5日

transport logistic 2025、着実な成長で記録を更新

Summary

- 73 カ国から 2,722 人の出展者、130 超の国・地域から 77,000 人超の来場者、いずれも過去最多
- デジタル化、サステナビリティ、人工知能に焦点
- Air Cargo Europe の重要性の高まりに伴い、世界の航空貨物業界向けに 2 つの展示ホールを設定



Facts & Data

会期	2025年6月2日(月)～5日(木) 9時30分～18時(最終日16時)
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	メッセ・ミュンヘン(Messe Muenchen GmbH)
規模	150,000 m ² (2023年:127,000 m ²)
出展社数	73カ国から2,722社(2023年度:67カ国から2,320社)
来場者数	130カ国から77,000人(2023年度:135カ国から75,000人)
主な出展品	各種ロジスティクスシステム(通信・データ処理、eビジネス、輸送・統合交通管理、港湾・航行、航空貨物、パイプライン輸送・送電)、輸送包装、保管・運搬・配送・積卸設備・施設、道路・鉄道・海上・複合輸送、コールドチェーンマネジメント、廃棄物処理ロジスティクス、河川・海・空港、航空会社、速達・小包・宅配サービス、倉庫・荷役・積み替え、AdBlue技術、通関、研究開発、業界団体・媒体 など
併催プログラム	Air Cargo Europe Conference、Campus Plaza など
出展日本企業(現法出展など含む)	NRS(株)、全日本空輸(株)、日本貨物航空(株)、日本通運(株)、三井倉庫(株)、郵船ロジスティクス(株) 他
専用URL	www.transportlogistic.de (英語、ドイツ語)

変化する世界において、transport logistic 2025 は、輸送・物流業界が今日達成すべきこと、そして達成可能なことを示した。ロジスティクス、モビリティ、IT、サプライチェーン・マネジメントの国際見本市である当イベントは、Air Cargo Europe と共同で、2025 年 6 月 2 日から 5 日までミュンヘン見本市会場で開催された。その重要性は圧倒的な数字によって証明された。73 カ国から 2,722 社が出展し、130 超の国・地域から 77,000 人を超える業界関係者が来場した。展示面積は 150,000 平方メートルに拡大し、業界最大規模の見本市となった。また、国外からの出展者割合は 65%に上昇(2023 年は 60%)。このように、当見本市は、スペースや参加者数といった数値面だけでなく、グローバルな影響力の面でも成長を遂げている。さらに、業界の政治的・経済的な重要性を強調するように、ドイツの新・連邦運輸大臣 Patrick Schnieder 氏の開会宣言のもと、正式に幕を開けた。

メッセ・ミュンヘンの CEO シュテファン・ルンメルは、「transport logistic 2025 は、私たちの繋がりが合った世界においてロジスティクスが果たす中心的な役割を見事に示した。ロジスティクスは世界経済の生命線であり、円滑なサプライチェーンがなければ、我々の日常生活は停滞してしまうであろう。特に、Patrick Schnieder 新・連邦運輸大臣によるこの見本市の開幕については、非常にありがたく思っている。参加者数が大幅に増加したことによって、非常に活気のある前向きな雰囲気となった。これは、世界をリードする見本市としての transport logistic 重要性を裏付けている」と述べている。



変革期にあるロジスティクス: AI、サイバーセキュリティ、サステナブルコンセプトの未来を切り拓く

transport logistic 2025 は、自律型輸送やスマート・プラットフォーム・ソリューションから AI 支援制御システムにわたって、明確な技術的重点領域を設定した。

パネルディスカッション、専門家によるプレゼンテーション、ワークショップといった、この見本市のカンファレンスプログラムには、現在の課題と革新の可能性が反映されており、サイバーセキュリティ、人工知能、デジタル化といった重点テーマが議題の中心であった。

Etihad Cargo 社貨物部門の最高責任者 Stanislas Brun 氏は、「transport logistic 2025 は、業界のデジタル化、サステナビリティ、そしてイノベーションの推進に、明確に焦点を当てている。主要なトピックには、人工知能、データ駆動型物流、代替駆動システムの拡大などがある」と端的に述べている。今年の見本市では、再び新たな基準が打ち立てられた。続いて、Kuehne+Nagel 社の CEO Tobias Jerschke 氏は、「物流業界はミュンヘンにその拠点を見出した。激しい市場変動

が続く中、transport logistic 2025 は、これまで以上に権威あるプラットフォームとしての役割を果たしている。イノベーションを促進し、市場動向を見極め、顧客との関係を深めるだけでなく、強力なネットワークのダイナミズムを通じて強力な推進力を生み出している。この見本市は、特に、技術、AI、統合型物流コンセプトの主要分野において、業界の発展を後押しするものとなっている」と述べた。

Air Cargo Europe の拡大:航空貨物にスポットライト

Air Cargo Europe は、今回、大いに注目を集めている。圧倒的な関心の高さから、航空貨物部門の2つの展示ホールは出展者と来場者で埋め尽くされた。これは、業界の関心の高さや市場の拡大を示すものであり、特に医療品や e コマースなどの分野で、航空貨物の重要性が増していることを反映している。



ミュンヘン空港の貨物開発ディレクター Markus Heinelt 氏は、「transport logistic は、Air Cargo Europe と連携して、輸送・物流業界における世界を代表する見本市としての称号にふさわしい存在となっている。これほどまでに、幅広く、質の高いサプライチェーン関係者が一堂に会する見本市は、ほかにはない」と述べている。アムステルダム・スキポール空港商業部門のエグゼ

クティブ・ディレクター Arthur Reijnhart 氏は、「航空貨物においては、オランダが、社会的にも経済的にも世界とのつながりを維持していく上で重要な役割を果たしている。transport logistic は、業界のパートナーと交流し、アイデアを交換し、共通の課題に取り組むための貴重な機会を提供している」と付け加えた。

質の高い来場者:ビジネスと交流のためのプラットフォーム

transport Logistic 2025 は、国外からこれまで以上に多くの来場者を迎えた。また、専門職と経営層双方の意思決定者の増加が顕著であった。4日間を通じて、この見本市は力強い勢い、高い関連性、そして具体的なビジネスの展開によって特徴づけられる。特に、複数の輸送手段で事業を展開する企業から、その国際的な規模が高く評価された。

Rhenus Group の CCO Tobias König 氏は、「transport Logistic は、Rhenus グループにとって、顧客やパートナーと直接つながるための不可欠なプラットフォームと位置付けている。ここでの商談は非常に質が高く、この見本市がこの業界をリードするイベントとして揺るぎない地位にあることを改めて実感した」と、確信をもって述べている。

続いて、KRONE Trailer 社のセールス・マーケティング担当マネージング・ディレクター Frank

Albers氏は、「当社にとって、transport Logisticは、単なる見本市ではなく世界中にアピールできる重要な業界集合の場であり、しかも、あらゆる輸送手段がここに揃っていて、将来のトレンドや課題、共同ソリューションについて論じ合える貴重な場である」と述べている。

そして、産業用物流不動産のデベロッパーであるPanattoni社のマネージング・パートナーFred Markus Bohne氏は、「transport Logisticは、業界で最も影響力のある頭脳が一堂に会する場であって、正に必見イベントだ。今年は、特に商談の質の高さが際立っていた。その多くは、トップレベルの意思決定者たちの下で行われ、具体的かつ前向きなものであった」と述べた。

結び:拡大を続けるリーディング見本市



戦略的なビジネス対話、技術の方向性の設定、あるいは個人的な再会の場として、transport logistic 2025は、業界が結集して未来を形作る中心的なプラットフォームとなった。

bremenports社のマネージング・ディレクターRobert Howe氏は、「約75,000人の業界関係者を迎えたtransport logisticを『同窓会』と呼ぶのは少し違うかもしれないが、それに近い雰囲気があるのも確かである。その感覚は、この

場で輸送・物流業界に真摯な情熱を持つ多くの人々と出会えることからくるものであろう。つまりは、それこそがtransport logisticを両業界におけるリーディング見本市している要因なのだ」と語っている。Andreas Schmid GroupのCEO Alessandro Cacciola氏は、「transport logisticは業界の交流の場に留まらず、新たな発想を生み出す原動力でもあった」と、端的にまとめている。

次回のtransport logisticは2027年4月26日から29日に開催される予定だ。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ:www.transportlogistic.de まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)